

2008年11月20日

<<報道資料>>

Quantenna Communications, Inc.

## HDTVマルチメディア・エンターテイメント向けメッシュ・ネットワークを実現する

### 世界初のIEEE802.11nチップセットを発表

～コンフィギュレーション可能な4x4 MIMOチップセット～

ワイヤレス動画配信およびHDTVマルチメディア・サービス向けに卓越した信頼性と最大1Gbpsの性能を実現、干渉低減しワイヤレスLANの通信範囲の拡張を可能にします

インテリジェント・ワイヤレス・ネットワーク用半導体開発会社であるクアンテナ・コミュニケーション（以下、クアンテナ）は、本日、家庭内のどこにでもWi-Fi（無線LAN）を介して動画配信を可能とすることを目的に設計され、また4x4 MIMO、ベクトル・メッシュ・ネットワーク、およびTx（送信）ビームフォーミング機能を世界で初めて完全に統合したIEEE802.11nチップセットをもって日本のワイヤレスLAN（WLAN）市場に参入することを発表しました。

Quantenna High Speed（QHS™）チップセット・ファミリは、802.11n準拠ワイヤレス・ネットワークを介して、HD（高精細）マルチメディア・コンテンツの配信に従来以上の伝送速度と信頼性をもたらす先駆けとなる製品です。クアンテナのチップセットの特徴として、ホーム・ネットワーク機器で2.4GHzと5GHzの両帯域にわたり多様なワイヤレス・パスの検出が可能なベクトル・ベースのメッシュ・ネットワークが挙げられます。この機能により、クアンテナの技術を搭載する製品は、1対1のWi-Fi接続にのみ対応する既存のホーム・ネットワーク・ソリューションに比べ、Wi-Fiの信頼性、性能、および通信範囲を飛躍的に向上させることができます。クアンテナの先進的なアーキテクチャは、2つから4つの並列帯域および最大1Gbpsのスループット接続速度をサポートしながら、干渉やデッドスポット（電波が届かない領域）を排除することで、802.11nを家庭内Wi-Fi動画向けの普遍技術およびプラットフォームを提供します。

株式会社バッファローのBBS事業部 事業部長の中井 一氏は、「干渉とデッドスポットの存在を考慮すると、家庭内全域にわたり信頼性に優れた高速Wi-Fiを通信可能にすることは大変困難です。ベクトル・メッシュ・ネットワークおよびTxビームフォーミング機能を搭載するソリューションは、HDTVなどのWi-Fi動画アプリケーション向けに、2.4GHzと5GHzのWi-Fi通信可能範囲をシームレスに拡張し、伝送速度を向上させるため、ユーザーはマルチメディア・コンテンツを家庭内のどこからでも安心して確実に受信できるようになります」と述べています。

ワイヤレスHD、HDTV、IPTVサービスなど、より多くの帯域を必要とするWi-Fi動画アプリケーションを搭載する、ホーム・ネットワーキング機器やコンシューマ機器にとってWi-Fiは最適な技術のひとつとなりました。しかし、家庭およびエンタープライズ向けワイヤレス・ネットワークの多くは、デッドゾーン、信頼性の低い帯域幅、満足とはいえないカバー率、シグナル干渉、サービス品質 (QoS) などの様々な課題を抱えています。多くの802.11チップセットがデータ伝送速度に関しては十分な性能を提供している一方で、信頼性の高いマルチメディア・サービスをサポートできる十分な堅牢性を保持していません。そのため、Wi-Fi動画アプリケーションを実現する信頼性、帯域を確保するために、機器ベンダーは異なる技術を組み合わせて対処しようとしてきましたが、未だに実現できていません。

クアンテナのチップセットは、このような急速に拡大する世界中の無線LAN市場のニーズに対応するために設計されました。調査会社In-Stat社の市場調査によると、ネットワーク機器およびコンシューマ・エレクトロニクス・メーカーによるWi-Fiチップセットの需要は2012年までに、世界中で9億3,800万個、約60億ドル規模に達すると予測されています。

モバイルおよびワイヤレス・コンサルティング会社のFarpoint Groupの主任アナリストのクレイグ・マチアス (Craig Mathias) 氏は、「今回の発表により、クアンテナは無線LANチップセットのアーキテクチャ、伝送速度、および信頼性において大きな進歩を遂げました。広範なアプリケーションに最適なクアンテナ製品の優れた柔軟性とコンフィギュレーション能力には目を見張るものがあります。性能と技術革新が重視される非常に競争の激しい市場において、クアンテナは卓越した地位を確立しています」と述べています。

クアンテナの創業者兼CEO(最高経営責任者)のペルーズ・レズバーニ博士 (Dr. Behrooz Rezvani) は、「過密した都市部での薄い壁を原因とする干渉の影響など、誰もがWi-Fiユーザーが日々直面している課題を認識していますが、業界はそれらの課題を未だに解決していません。当社の技術は特にこれらの課題に対応するために開発されており、家庭内で信頼性に優れたリアルタイムのHDTV配信をサポートします。それ以上に重要なことは、この技術により、IEEE802.11n規格がゲーム、マルチメディア、およびHDTVなどのWi-Fi動画サービスをどのような大きさの住宅でも、どこからでもコスト効率良く配信できるようにするための汎用プラットフォームになるということです」と述べています。

## **製品情報**

クアンテナの新しいチップセットであるQHS1000、QHS600、およびQHS450は、干渉とデッドスポットを排除することで、コンシューマや通信事業者がプラグ・アンド・プレイ・ワイヤレス・ネットワークを介して家庭内のどこへでも信頼性に優れたワイヤレスHD、HDTV、およびIPTVサービスを展開することを可能にします。これらのQHSチップセットは、以下の技術を業界で初めて802.11n準拠のソリューションに統合しました。

- 4x4 MIMO無線/トランシーバ：干渉の激しい状況下で最大限の信頼性を提供。
- Txビームフォーミング：受信デバイスの位置を特定し、シグナルをそこに集中させることで、通信可能範囲とデータ転送速度を向上。一方で、伝送消費電力を削減。
- コンカレント・デュアルバンド・モード (並列デュアル帯域モード)：5GHz帯域を介したリアルタイムの動画伝送と2.4GHz帯域を介したデータ伝送を同時にサポート。

- ベクトル・メッシュ・ネットワーキング：アダプティブ・ベクトル・メッシュ・ルーティングを使用することで、あらゆる規模の家庭でも全域に完全に行きわたるワイヤレス・ネットワークを保証。
- 最高水準の集積化：18dBm出力の高効率電力増幅器（PA）に、フロント・エンド・モジュールを構成する低雑音増幅回路（LNA）、可変利得増幅器（VGA）、スイッチ、バランおよびディプレクサーを集積。

GHSファミリは、以下の製品から構成されます。

- GHS1000：最大1Gbpsの接続速度と600Mbpsのデータ転送速度
- GHS600：最大600Mbpsの接続速度と400Mbpsのデータ転送速度
- GHS450：最大450Mbpsの接続速度と200Mbpsのデータ転送速度

クアンテナは、2008年第4四半期より、小売および通信事業市場の大手顧客向けにGHSチップセット・ファミリのサンプル出荷を開始する予定です。製品価格はクアンテナにお問い合わせください。

### Quantenna Communicationsについて

Quantenna Communications, Inc.は、ワイヤレス・ネットワークおよびデバイスに最高水準の性能、速度、および信頼性をもたらす次世代チップセットを開発しているファブレス半導体企業です。本社を米カリフォルニア州サニーベールに構え、スタートアップ企業の立ち上げに成功した実績を持つ経営陣とエンジニアリング・チームを擁しており、Grazia Equity、Sequoia Capital、Sigma Partners、およびVenrock Associatesなどシリコンバレーの名高いベンチャー・キャピタル会社の支援を受けています。Quantenna Communicationsの詳細情報は、<http://www.quantenna.com>に掲載されています。

<<報道関係の方からのお問い合わせ先>>

Quantenna Communications社PR代理店  
有限会社アンビローク

Tel: 03-3384-3434 / Fax: 03-5204-9180

Email: [quantenna@ambilogue.com](mailto:quantenna@ambilogue.com)